

# 令和4年度・中学生防犯作文集

身近な犯罪から家族を守ろう！

～私の防犯活動～

- 多摩中央警察署 署長賞 1名
- 多摩稲城防犯協会 会長賞 1名
- 多摩稲城防犯協会 優秀賞 13名

応募総数 464 編  
(多摩 236・稲城 228)

多摩稲城防犯協会

〒206-0034 東京都多摩市鶴牧 1-26-1  
多摩中央警察署内

電話・FAX 042 (337) 0019

Email: tamainagi-bouhan@nifty.com

HP: <https://tamainagibouhan.org/>



令和4年度多摩稲城中学生防犯作文表彰者

多摩中央警察署 署長賞（1編）

稲城市立稲城第三中学校 3年 須田 遼也

多摩稲城防犯協会 会長賞（1編）

多摩市立落合中学校 1年 栗田 七海

多摩稲城防犯協会 優秀賞（13編）

多摩市立落合中学校	1年 浅山 舞	稲城市立稲城第二中学校	2年 川 心優
多摩市立落合中学校	1年 武次 美侑	稲城市立稲城第二中学校	2年 草野 壮大
多摩市立和田中学校	1年 服部 詩	稲城市立稲城第二中学校	2年 勝田 理紗
多摩市立和田中学校	1年 池亀 優菜	稲城市立稲城第三中学校	3年 坪内 美仁
多摩市立和田中学校	1年 千葉 叶羽	稲城市立稲城第五中学校	1年 東山 結美
多摩市立和田中学校	1年 小郷 桃子	稲城市立稲城第五中学校	1年 永松 美優
		稲城市立稲城第五中学校	1年 諸野 真子

令和4年度中学生防犯作文テーマの趣旨

今年度は、「身近な犯罪から家族を守ろう！～私の防犯活動～」と中学生防犯作文のテーマとさせていただきます、若い世代の皆様には防犯について考えていただく機会として、実施することといたしました。

日々発生する各種犯罪に対する防犯活動は必要不可欠です。これまで、防犯の基本は「人の目」、「ふれあい」、「絆」といったキーワードが重視されており、当防犯協会でも、人の集まる機会を捉えた街頭でのキャンペーンや集会での防犯講話など防犯活動を積極的に推進してきました。

その結果、平成16年に多摩市2,788件、稲城市1,286件もあった刑法犯認知件数は、昨年（令和3年）には多摩市507件、稲城市236件と、大幅に減少しております。

社会情勢の変化に伴って、新たな手口の犯罪の発生もあり、自身の家族、身近な人等が巻き込まれる犯罪も何時、どこで発生してもおかしくはありません。

そこで、次代を担う中学生の皆さんに、自分の家族、身近な人、友達が犯罪に遭って悲しい顔にならないで欲しいと思い、また、今後どのような形で各種犯罪を防いでいけば良いのか、自分に出来る小さくても継続して行える防犯活動、集まれば大きくて揺るがない防犯活動を考えていただきたいと思います。

犯罪を少しでも無くそうとする防犯意識の大切さを、皆さんと一緒に考えて行ければと思います。今回のテーマといたしました。

どうか大勢の生徒の皆さんの参加をいただけますようご協力お願いいたします。

多摩中央警察署 署長賞

稲城市立稲城第三中学校

三年 須田 遼也

私は今年の正月ごろに祖父母から「最近非通知からの電話がくる」と心配の声を聞きました。最近では電話での詐欺が増えてるといので「その電話は出ちゃだめだよ」と言いました。しかし、また次の日に「何度もかかってくる」と電話があったので私は祖父母が狙われていると思い、電話詐欺防止のための電話を買ってあげました。すると非通知からの電話が来なくなりました。

このように、非通知からの電話や、知らない番号から電話がかかってくることは少なからずあると思います。そういう時は電話に出ないことが一番ですが、間違えて電話に出てしまった時の対処方法を知っておくべきだと私は思います。例えば不審な電話がきたら丁寧に断ってから電話を切ることで、そうすることによって相手を刺激することなく撃退することが出来ます。

私は丁寧に断るといふ対処方法などを周りの人に広めていく必要があると思います。なのでこれらを載せたポスターやチラシなどを作って世の中を安心、安全なものにしたいです。

多摩稲城防犯協会 会長賞

多摩市立落合中学校

一年 栗田 七海

私が書く防犯の種類は、インターネットなど、スマートフォンなどを使うものです。

なぜ、インターネットなどの犯罪にしたかという、弟以外の家族全員がスマホを使っている、防犯の仕方を家族全員が知っていれば少しは安全になると思ったからです。

まずは、インターネット詐欺の種類についてです。たくさんある中の二つを紹介しします。

一つ目は、「ワンクリック詐欺」この詐欺は、偽装された成人向けサイトなどにアクセスさせることで、「会員登録完了」や「購入完了」といったメッセージを表示して高額な料金を請求する手口のことです。

二つ目は、「ランサムウェア」この詐欺は、パソコンやスマホをロックして使えない状態にした上で、ロックを解除するために金額を要求する手口のことです。

次に、スマートフォン詐欺の種類についてです。たくさんある中の二つを紹介しします。

一つ目は、「ゼロクリック詐欺」です。この詐欺は、利用者がクリックしなくても、サービス入会の完了画面が自動で表示されるタイプの詐欺行為のことです。

二つ目は、「フィッシング詐欺」、この詐欺有名企業を装った犯人がメールやSNSを送信し、IDやパスワードなどのログイン情報を盗みとるタイプの詐欺行為のことです。

このように、インターネットやスマートフォンには色々な詐欺があり、これらの詐欺を家族全員が知らなければ、簡単にだまされてしまうかもしれない。事前に詐欺の種類や特徴や対処方法を知っておけば、突然スマートフォン詐欺やインターネット詐欺に出会っても慌てずに対応できると思います。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

多摩市立落合中学校

一年 浅山 舞

私が住んでいる多摩市は緑が多くとてもきれいです。しかし、その緑が私たちのSOSを分かりにくくしてしまいます。

家の近くにある公園では、子どもたちが遊ぶ中、木も多くとてもうっそうとしています。街灯も少なく特に夜は人が歩いていても、分からないくらい暗く危ないです。

私が行っている防犯対策一つ目は、夜に一人で出歩かないことです。多摩

市には公園が多いため、かくれる場所が多く、よく不審者情報が流れてきます。二つ目に私は、エレベーターに乗ったときに、ボタンの前に立つようにしています。この方法はテレビで紹介していて、何か起こったときに、すぐ出られる階のボタンを押すことができるからです。他にはここ近年、増加しているストーカー被害があります。そのため家に入るまえに、誰か後ろにいないかを確認してから入るようにしています。

インターネットで調べていて、暗い夜道を歩くときはライトをもちあるくという対策があったので、やってみようと思います。身近な犯罪から家族を守るには、一人一人が意識して行動することが大切だと思います。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

### 多摩市立落合中学校

一年 武 次 美 侑

私は、いつも朝にテレビでニュースを見ています。その中で一番気になったのがSNSによる詐欺です。SNSは情報収集などをするときに便利ですが、不用意に利用しているとネット詐欺などの被害にあってしまうかもしれません。私の家族は、全員がスマホを持っています。なので、家族が被害にあわずに安全にスマホなどを使えるように気をつけたいです。

まず、なぜSNSによる詐欺が多いのか。それはインターネットを経由することで詐欺師たちは桁違いの数を相手にできるだけでなく、個人情報の入手すら容易になったからです。また、「リアル」ではなく「インターネット」という違いなどからです。

SNS詐欺の被害にあわないようにするにはどうすれば良いのか。一つ目は、インターネット上のやりとりで、少しでも不審な点を感じたら、その情報の発信元や真偽を確認することです。二つ目は、知らない間に詐欺などの犯罪に巻きこまれないようにどのような行為が犯罪にあたるのか知っておくことです。

これらの事などに気をつけスマホなどのインターネットを正しく安全に使

えるようにしていきたいです。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

### 多摩市立和田中学校

一年 服 部 詩

拡大しているSNSの犯罪。自分や家族が被害にあわないためにはどうしたら良いのか。

SNSの犯罪で多数被害が出ているのは、フィッシング詐欺や個人情報の流出による事件などがある。私にとって身近なのは、個人情報の流出による事件だ。そのような被害はなぜ起こるのか。その主な理由は、投稿した写真や動画になんらかの個人情報が入っていたり、位置情報が入っていたりすること、家の特定をされたり、誘拐などの被害が出たりしている。

自分や家族の誰か1人が誤った投稿をしてしまう事で投稿した本人、そして家族も被害にあう可能性がある。それに対して私は、投稿する機会があるときは、非常に気をつかわなければいけないと思った。また、被害にあわないようにするには、SNSに投稿する時には写真に建物や個人情報が反射したりして写りこんでいないか、位置情報は入っていないかなどをしっかりと確認する事が大事だと思う。

さらに、家族にも声かけをしようと思う。家族みんなでSNSをどのように使っているかなどを日頃から話し合い、コミュニケーションをたくさん取る事が大事だ。コミュニケーションを取る事が自分の身も家族の身も守る事につながるのではないか。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

### 多摩市立和田中学校

一年 池 亀 優 菜

私が、「身近な犯罪」と聞いて思いうかべるのは、万引きだ。

万引きは、近所のスーパーやコンビニで身近に起こっている。万引きする人は、「ちょっとだけならバレない」とか、「スリルを味わってみたい」などという思いで万引きを行っている。一回目でバレることもあるが、二回や三回やってもバレないと、むしろそれを楽しんでしまうのかもしれない。私はそんな軽い思いで万引きする人達のことを情けないと感じた。なぜなら、その軽い思いでたくさんの人をきずつけてしまうからだ。「少しだけなら…」というちよつとした出来心によって、店の人は二度とその人のことを信用してくれないだろうし、その人の家族はきつと、とてつもなく怒るだろう。そして、もしもその人の友達がそれを知ってしまったら、きつとその人からは離れていくだろう。万引きを犯して得になることなんて一つもない。だから、自分の家族には万引きに手を染めて欲しくない。私が人生を歩む上での目標は、一生善良な人間として生きていくことだ。万引きだけに限らず、強盗や殺人などの犯罪にも手を染めて欲しくないし、その犯罪の被害者になつてなつて欲しくない。そんな時こそ防犯対策が必要なんだと感じた。だから私は、できることから始めてみようと感じた。例えば、学校への登下校の際に不審者に会つてしまう可能性を考えて、通学用のリュックにフエヤブザーをつけておき、身近な犯罪から身を守ろうと思う。

一人一人が身近な犯罪への防犯対策や活動を意識していけば、被罪を小さくしていくことができるんじゃないかと感じた。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

### 多摩市立和田中学校

一年 千葉 叶 羽

身近な犯罪について、私なりに考えてみました。我が家では一人一台スマートフォンを持つています。中学生になると持つ人も増えてくるので、一番身近な問題だと考えました。

スマートフォンを持つことによって、便利な事もあるけれど、その分危険な事もたくさんあります。例えば、言葉で人を傷つけてしまう誹謗中傷や実

際の性別や顔、名前、年齢を偽るなりすまし・本名や写真などによる個人情報流出など挙げればきりがありません。今年の夏、妹がスマートフォンを持ち始めました。このような事に巻き込まれてしまつてからでは遅いので、家族で話し合いました。メッセージは、読み手の感情に左右されてしまうため文字を入れる前の確認や絵文字を使う。もし、SNS内で友達が出来て個人情報を聞かれても教えない。簡単に会おうとしない。ゲームを入れる前は、親に確認をもらうなどの対策があると話し合いました。

今回妹がスマートフォン持つことになつて話し合うきっかけになつたので、私も再確認することができました。今も気をつけていますが、メッセージのやり取りや写真を送るときなど、インターネット内では何が起きるか分からないので、さらに気をつけようと思ひました。いつ、どんなきっかけでネット犯罪に巻き込まれるか分からないので、一番身近な問題として家族みんな話し合えたのは良かったと思ひました。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

### 多摩市立和田中学校

一年 小郷 桃子

私が考える身近な犯罪とは、万引きである。万引きは、中学生の私たちでも犯すことができつてしまう程簡単だが、重い犯罪だからだ。

以前、テレビで万引きについての特集を目にした。子供が万引をするのは友達の影響や、ゲーム感覚で行つてることが多いという。また、繰り返すうちに罪悪感を感じなくなり、常習化していくこともある。そして、何より辛いのは、自分自身ではなく「家族」なのだ。私はそんな身近で、とても怖い犯罪から家族を守るために、友達などから万引きの誘いを受けても断ることが出来る、精神的な強さをもちたい。そのために、私は万引きがどれ程やつてはいけないのか、ということを中心に強くもつておくことを意識してきたい。たしかに、意識するだけで精神的な強さをもつのは難しいかもしれない。しかし、自分で強い意志をもつておくことが家族を守ること、そして自分自

身を守ることにもつながるのだと思う。

このように、万引きとは軽い気持ちで実行できるが、家族をおおいに悲しませ、風評被害にあつてしまふかもしれない、怖くて身近な犯罪である。そんな自分によつておこされる犯罪から家族を守るためには、やはり自分でだめなことだと強く認識して意志をもち、万引き防止に努めることが、何より大切なだろう。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

### 稲城市立稲城第二中学校

二年 川 心 優

私や家族にとって身近な犯罪は、SNSのトラブルやスマホによる犯罪など色々なものがあります。その中で最も家族に気をつけてほしいのは、詐欺についてです。詐欺には色々な種類があつて、高齢者が狙われやすい特殊詐欺や子供が巻き込まれることが多いSNS犯罪などです。

私の家ではニュースでオレオレ詐欺などのニュースが流れると、家族でどうしたら詐欺に遭わないで済むか話し合つたりします。詐欺に騙される人の大半は、「自分が騙されるとは思わなかつた」というそうです。私の家族が詐欺に遭わないために、時々祖父母に連絡を取りたいと思ひました。

私達子供が狙われやすいSNS犯罪は、実際のニュースにもあるように、瞳に映つた風景などで自宅などが特定されてしまうことがあります。そのせいでストーカー被害にあつたりします。SNSに投稿する際は色々な配慮が必要で、とても慎重に行わないといけません。今はまだ中学生なのでSNSへの投稿はしていませんが、今後SNSを使う機会が増えると思うので、自分自身しっかりと対策をしようと思ひました。

ここまで述べたこと以外にも犯罪はたくさん身近にあります。私の防犯活動として今後も家族と話し合い、必要な対策を学んでいこうと思ひました。家族と話をすることで、家・家族を守ることにも繋がると思ひます。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

### 稲城市立稲城第二中学校

二年 草野 壮 大

私は詐欺について調べてみました。詐欺には、オレオレ詐欺、キャッシングカード詐欺、還付金詐欺、預貯金詐欺、架空請求詐欺などいろんな詐欺があります。詐欺でもいろんな手段がありインターネット、電話などから詐欺をします。

どうして詐欺を防いだほうがいいかというと、それは、詐欺の被害者は何も悪い事をしていないのに多くのお金を失つてしまうからです、また稲城市でもテレビでも詐欺にあつて困っている人が沢山いるからです。どのような対処法があるかという例えば、知らない人にはお金を貸さない、お金を要求されたらすぐに一一〇番通報する。留守番電話設定にするなどの対処法を考える。

私が家族にできることは、家族伝達どんな電話があつたよという連絡など、変な電話がかかつてきたと思つたら一一〇番通報する。今日から実践していくことは何かそれは、留守番電話設定にする詐欺の対処法について家族と話す。例えば、電話がかかってきたときはお互いに情報共有するという約束事を作る、電話がかかってきたときどちら様ですかと聞いたり、相手の身元を確認、一番は質問確認を、続ける人が苦手らしいです。私はこれらの対処法で家族を守つていきたいです。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

### 稲城市立稲城第二中学校

二年 勝田 理 紗

この作文を書くにあたり、身近に起こりえる犯罪を考えてみた。空き巣や窃盗、誘拐など様々な犯罪がある。その中で私が普段から行っている防犯活動は、空き巣に入られないようにすることと窃盗の対策だ。

まず空き巣にはいられないようにするために、家の門に鈴を付けている。鈴を付けているのは飾りでもなく悪魔よけでもない。空き巣に入られないようにするためだ。鈴を付けることによって誰かが中に入って来たことを音で知らせることができ家族以外の者が入って来ることが分かるのだ。また、外出する際には、ラジオと電気を点け、留守だということを分からないようにしている。

しかし、このような対策法だと電気代が無駄になってしまうと考える人もいるだろう。けれども、我が家では電気代よりも身の安全を確保することがより大事だと考える。

次に窃盗対策についてだ。我が家では、人通りが多いところや公共の交通を使う時には、かばんのファスナーを簡単にあけられないように、気をつけている。

このようなことから、自分次第で犯罪に巻き込まれないようにする方法はある。犯罪にあつてから後悔するよりも、未然に防ぎ、安心して生活を送れるようにし続けたい。そして、家族全員がこのような対策をすることで、より楽しい生活を送れることができる。我が家だけでなく、地域の人々にも安全な暮らしを届けたいから、地域でも防犯活動をしていきたい。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

### 稲城市立稲城第三中学校

3年 坪内美仁

今、私たちは安全に生活をすることができます。ですが、予期せず犯罪に巻き込まれて、安全な暮らしがいつできなくなってもおかしくありません。その犯罪から家族を守るためにやっている私たちの防犯活動を紹介します。

私たちの家庭では、不法侵入・窃盗を防ぐために二つの対策をしています。一つ目は、戸締りの確認です。簡単にシンプルなことですがとても大事です。鍵をかけることで直接防犯になることに加えて、戸締りをよく確認する世帯はターゲットにされづらいと思うので意識して対策しています。鍵のか

け忘れによって不法侵入され、家族が危険にさらされてしまうため意識するべきです。

二つ目は、玄関やベランダの前に荷物を置かないことです。玄関やベランダはその世帯の情報の一つなので、金品の多いイメージを持ち、ターゲットにされてしまわないために荷物を置かないようにしています。

ここで紹介したことは私たちの家庭で意識していることなので、完璧に防げるとは言いません。ですが、家族や自分自身の安全のために出来るだけ多くの対策をすることが重要だと思います。沢山の人が身近な犯罪から被害を受けず、安全で安心した生活ができるようになれば良いと思っています。

多摩稲城防犯協会 優秀賞

### 稲城市立稲城第五中学校

1年 東山結美

私は、身近な間で万引きがおきないようにするには、声かけやポスターづくりがいいと思います。

理由は、その万引きの情報をいろんな人が知れて声かけをしてくれる人が増えると思うからです。声かけだけではなくポスターなども作って、より万引きは絶対ダメというのが伝わるからです。

もう一つは、よく万引きは絶対ダメのポスターがかざってあるからです。学校のろうかや近所に万引きのことが書かれたポスターがよくはつてあるので作ろうと思いました。

私は、今回万引きの学習をして万引きは、絶対ダメだということがよりわかりました。みんなが万引きを絶対しなないためには、声かけなどをしたり、ポスターを作ったりすることが大切だと思います。ポスターなどは、作れなくても声かけは、できると思うのでやりたいです。

稲城市立稲城第五中学校

一年 永松 美優

私は、「車の信号無視」について考えました。ただ赤信号で車が通っただけで大きな事故につながる可能性があるからです。車を運転する人は、今人が歩いてないから大丈夫だろうと思っても、もし人がわたっていたら視界に入っていない可能性もあります。だからと、人をひいてしまい悪気はなくても殺人につながってしまいます。

もう一つ挙げられるのは、車どうしの事故です。交差点があったとして、もし一台の車が信号無視をしたら、まがってきた車とぶつかる可能性があります。もし、事故が起きた場所が交差点だとしたら、通行止めなど他の車をまきこむ原因にもなります。

このように、たった一つの小さな動きが大きな事故をおこしてしまいます。場合によっては、全く関係のない人もまきこんでしまう怖い事故だと思います。なので、歩行者は必ず左右をかくにんしてからわたり、車は信号をしっかり守るといふきまりにしたがうことが大切だと思います。車が信号無視することは犯罪にも入って、悪いことではあります。けど、歩行者は自分の命を守るためにまわりをかくにんし、集団で行動するのも良いと思います。友達などと行動すれば、自分だけでなく、相手に声をかけて事故の元をふせぐ事もできると思います。このように、車の事故や信号無視のニュースをなくすためにも、日頃から、相手があぶなかつたら声をかけたり自分でかくにんして一つの命を守る行動を取れるようにしたいです。

稲城市立稲城第五中学校

一年 諸野 真子

私の身近におこりそうな犯罪は「ちかん」です。最近、ニュースなどでち

かんが増えているとよく聞くからです。

ちかんに巻き込まれて、被害にあわないようにするために自分ができる対策は三つあります。

第一にも、ちかんにあつたら、周囲の人に「助けて」など声で伝えることは難しいとよく聞いたため、声で伝えなくてもスマホのアプリにちかんにあつてもスマホを周囲の人に見せれば伝わるアプリを入れておくことが大切だと思います。

第二に防犯グッズを持っておくことです。防犯ブザーなど、かばんにつけておくだけでちかんだけでなく、誘かいなどをされた時でも使えると思うので、防犯グッズを常に持つておくことが大切だと思います。

第三にちかんにあわないようにするために始めから、女性が多い場所にいることが大切だと思います。女性が多い場所にいることではちかんにあわないかと考えます。

この三つ以外にも、様々な対策があると思うので自分なりの対策方法を考え、犯罪をなくしていくことが大切だと思います。